

2019年3月16日（土）

日本藻類学会第43回大会京都大会懇親会挨拶

藻類学会会長の奥田一雄です。

このたびは日本藻類学会第43回大会京都大会にご参加いただき、まことにありがとうございます。

本大会を京都大学で開催するにあたり、大会会長の宮下英明先生ならびに大会実行委員会委員長の福澤秀哉先生と7名の委員の皆さまには、本大会のご準備と実施運営のために労を尽くしていただき、まことにありがとうございます。

藻類学会を代表して厚くお礼申し上げます。

さて、この藻類学会京都大会では、若手発表賞と若手ポスター賞という賞が設けられました。

これは、大学院生とポスドクを対象とした若手による藻類学研究の奨励を目的とするもので、今回初めて京都大会実行委員会によって企画実施されたものです。

口頭発表とポスター発表のそれぞれにおいて、大型藻類に関する研究と微細藻類に関する研究について賞が授与されます。

審査結果の発表と表彰はこの懇親会で行われるということで、大変楽しみであります。

ここ古都京都の地に、藻類学会の多くの会員が集まり、それぞれが展開してきた教育・研究活動の成果を発表することで、藻類学の進展のみならず、地域社会および産業界へ有意義な情報発信ができることを望みます。

それでは、どうぞ今宵は良いお酒と美味しい料理で、藻類学会会員同士の意見交換と親睦を深めていただければ幸いに存じます。

以上

